

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	近江八幡市発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1 月 1 4 日		～ 令和 7年 1 2月 1 4 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和 7年 1 2月 1 5 日		～ 令和 8年 1 月 9 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 1 1月 1 4 日		～ 令和 7年 1 2月 1 4 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1 月 2 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画の作成は、相談支援事業所と連携し、訪問先施設の職員と事前に検討会議を行い、原案作成後、児童発達支援責任管理者と再度検討作成している。その後、保護者に個別支援計画説明面談および評価面談を実施している。	・面談日は、保護者に事前に知らせて、保護者支援を踏まえ丁寧に説明し、同意を得ている。	・今後も継続します。
2	・就学前施設(幼稚園・保育所・こども園)での経験が豊富な職員配置のため、加配職員の困り感に対して、適切なアドバイスや、保育援助の直接指導ができています。	・保育の直接指導では、加配職員が担当時の姿を、客観的に観察できる機会にしている。	・今後も継続します。
3	・保育所等訪問サービス提供記録の内容は、保護者や加配職員に分かりやすく、丁寧に記載されている。	・保護者のニーズに合わせた内容に、留意して記載するようにしている。	・今後も継続します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・園の事情に合わせてカンファレンスの持ち方が変わること。 ・園の方針の中でアドバイスを考えていくことの難しさがあること。	・障害児支援に関する相当の知識と経験が必要のため。	・長期的なサービス提供に繋がる幅広い人材確保が必要です。
2			
3			